



医師

第3回 白鳥・市民健康セミナー開催報告

広報委員会副委員長

心療内科部長 芦原 睦

去る10月28日、第3回市民セミナーが開催されました。今回のテーマは「脳卒中医療の最前線」でした。雨天にもかかわらず、420名強の参加者に恵まれ、会場はほぼ満席でした。脳卒中への関心の高さがうかがわれます。

亀山神経内科部長の名司会で始まったこのセミナーですが、トップバッターは梅村脳卒中内科部長の「脳梗塞の初期対応」というお話でした。早期発見、早期治療の重要性を説かれました。

二人目が高須脳神経外科部長の登場です。脳外科手術の実際をビデオでみせていただきましたが、2ミリの血管内の塞栓を除去する手術の手際よさというか……ただただ技術に驚きました。三人目が服部健一先生のカテーテル手術のお話でした。これも医学の進歩をまのあたりに見たという感じで、感銘を受けました。二人の脳外科医はなかなかカッコ良かったです。

ケースワーカーの森下さんのお話は、きわめて実務的で聞かれた市民の方に急性期病院の特徴と地域連携の内容がよく伝えられたと思います。

特別講演は植谷循環器内科部長の司会で「高血圧と心血管病」のタイトルのもと、名古屋大学循環器内科教授 室原豊明先生の格調高い講演でした。医学の基礎的な分野から高血圧症のメカニズム、その診断と治療に至るまでわかりやすく解説していただきました。

会場の市民の皆様の満足度はかなり高いものだったと思われます。

いずれの講演に対しても、会場からいく

つかの熱心な質問がありましたし、演者と聴衆者のあふれる熱気が会場を包んでおりました。

数々のアンケートを頂きましたので、以下に紹介します。

- ・具体的に説明していただき、脳ドックを受けてみたいと思いました。
- ・手術の映像やイラストを使用した説明は理解がしやすく、とても分かりやすかったです。
- ・脳梗塞における症状や治療などを詳しく説明され、最近の治療はめざましく進歩しているなあと思いました。
- ・数年前に家族が脳卒中で倒れ、救急車で運ばれ入院して治りました。運がよかったと周りから言われています。

このような形で市民セミナーを終えることができましたことは、広報委員会として大変光栄に思います。今後も有意義な情報提供ができる市民セミナーを開催していくつもりです。次回は「骨粗鬆症医療の最前線」というテーマで3月20日開催で、テーマは整形外科領域の話を予定しています。中部ろうさい病院は、いつも市民の目線で、市民の皆様とともに歩んでまいります。

